

新任教員紹介

山口 睦 (やまぐち むつみ)

所属	人文学部人文学科 社会学講座
職名	准教授
発令年月日	2017年4月1日
最終学歴	東北大学大学院環境科学研究科博士後期課程 修了、博士(学術) [東北大学]
担当授業科目	学部：民俗学・文化人類学演習，民俗調査実習，博物館概論 大学院：造形伝承論，現代社会分析論演習
研究活動の概要	<p>山口先生の研究テーマは、およそ次の3つです。</p> <p>①贈与交換についての人類学的研究</p> <p>山口先生は、古い農家に残された香典帳などを手がかりとしながら、近代日本の村落社会における贈与交換の変遷について、歴史人類学的研究を行ってきました。とりわけ、水引や熨斗紙に象徴されるイエを単位とした伝統的な贈与から区別されて、洋包みやリボンに象徴される個人的贈与が誕生してくるプロセスに注目しています。そして、このような近代化のプロセスの背後に、もう一つの変化—寄付や寄進などの公共的贈与と区別された形で、従軍兵士への慰問袋や慰問文などの国民的贈与が展開される—が介在していたことを明らかにしています。</p> <p>②災害時の贈与行為と東日本大震災の被災地調査</p> <p>地震や台風、火事、戦争などの災害時には、被災地支援・被災者支援という形で、様々な贈与活動が活発化します。山口先生は、婦人会活動での被災地支援や東日本大震災時におけるNPO活動の研究を通じて、「継続的」な「物心両面」にわたる共感的な贈与が開始される点に着目しています。また、これまで村落調査の対象地であった宮城県南部地域が、東日本大震災で大きな影響を被ったことから、地域社会の協力関係や農業の変化について、被災地調査を継続しておられます。</p> <p>③東アジアにおける戦争観光とナショナリズム</p> <p>山口先生は、日本や中国における戦争観光についての調査研究も行っています。なかでも、戦争観光の資源として旧海軍の零戦の展示に注目しています。現在、復元、レプリカなど国内に11機が博物館や資料館に展示されており、高い関心を集めています。こうした零戦への関心がどのように形成展開されてきたのか、茨城県阿見町の予科練平和記念館、鹿児島県にある鹿屋航空基地、知覧平和特攻記念館、万世特攻平和記念館などで調査を行っています。</p>